

令和2年度余裕金の資金運用状況等について

国立大学法人徳島大学

【運用方針】

運営費交付金等の削減により将来的な収入財源の縮小が予想される中、国の法律改正を受け従来からの元本保証のある金融商品から、リスクを伴う収益性の高い金融商品への運用が可能となりました。

本学では、教育研究等の中長期的な財政基盤の強化を図るため、当面支払の予定のない寄附金等の余裕金を原資として、安全性及び流動性を十分に配慮し、より収益性の高い金融商品へ運用を拡大することで安定した利息収益の確保を目指します。

1 資金運用管理委員会の開催状況

- ① 第1回（令和2年6月8日開催）
- ② 第2回（令和2年10月1日開催）
- ③ 第3回（令和2年12月17日開催）
- ④ 第4回（令和3年2月19日開催）

2 資金運用状況

区分	商品種別	運用回数※1	運用額	利回り	運用収益※2
短期運用	大口定期預金	1件	20億円	0.030%	782千円
	譲渡性預金	6件	85億円	0.012～0.060%	
	金銭信託	1件	5億円	0.200%	
中・長期運用 (1年以上の運用)	大口定期預金	1件	5億円	0.150%	21,727千円
	金銭信託	1件	5億円	0.130%	
	電力債	4件	20億円	0.430～1.310%	
	事業債	2件	4億円	0.560～0.875%	
	投資信託	2件	1.8億円	0.80～3.55%	
総運用収益額					22,509千円

※1 運用回数
令和2年度中に満期となる運用を含む

※2 運用収益
基準日までに利払があったもののみを計上